

アダプトプログラム の仲間たち

vol. 1

北山フラワークラブ



「みんなの喜ぶ顔を見たい」

こうおっしゃる北山フラワークラブさんの活動をご紹介します♪

Q. メンバーは？

A. 北山コミュニティ推進協議会の環境部活動がきっかけで始まったグループです。環境部としての活動は1年で終わりましたが、50歳代～70歳代のメンバー30人ほどが、その後も自主的に活動を続けています。

Q. きっかけは？

A. 共和東保育園の前の歩道の雑草の量がすごくて、北山コミュニティの役員らの中で、前々から何とかしなければという声が出ていました。雑草が多いと、ゴミのポイ捨ても増えて悪循環になりますね。

10年ほど前に、北山コミュニティの環境部で思い切って花を植えようということになりました。それが、そもそのスタートです。

Q. 大変だったことは？

A. 80坪もの土地なので、まず始めに生い茂った草を取るだけでも大変でした。次に土壤改良。大量に肥料を入れて土づくりをするところから始めました。

種をまいて、苗を育て、それを移植して、毎日の水

やりは欠かせません。草取りも必須です。けれども、初めてきれいに花が咲いた時には苦勞が大きかった分、達成感も大きかったです。

保育園の近くなので、近所の親子連れが立ち止まって花壇を見てくれるのは、うれしい瞬間です。

もともと園芸が好きなメンバーでしたが、頼りにしてもらえ、この活動が生きがいにもなっています。

Q. 最近の活動の様子は？

A. 北山児童センターや共和東保育園の子どもたちに種まきや苗植えを手伝ってもらったり、周辺のゴミ拾いに協力くださる市民があらわれたりと、活動がゆるやかに広がっています。クラブ以外の方たちとも協力して、活動を続けていけたらと思います。



■アダプトプログラム（公共施設美子線組制度）

アダプト(ADOPT)とは、英語で「養子にする」の意味。公共の道路や河川、公園などを養子にみだて、市民がわが子のように愛情を持って清掃美化する活動のこと。大府市では 2002 年に始まり、現在87団体が活動に取り組んでいます。